



花籠文盆  
室町~安土桃山時代



神王面  
室町時代

象嵌双喜文入れ  
朝鮮王朝時代



鉄地布目銀象嵌文入れ  
朝鮮王朝時代

## 特別展



赤絵菊花文鉢  
江戸時代



スピリットフラスク  
18世紀 ドイツ



筒描  
鶴笹梅折鶴文夜着  
明治時代

# かん 観 じ る 民 藝 展

## 柳宗悦に学んだ

## おぎむうしん ぞう 尾久彰三コレクション

直観的にモノの中に  
美を見出すことを

「観じる」と表現する

尾久氏のコレクションを通し

「生活の中の美」に触れる。



木彫り蓮池文窓 朝鮮王朝時代

撮影:大屋孝雄

2015年 7月18日<土>—8月30日<日>

開館時間 午前8:30—午後4:30 ※期間中の休館日はありません。

入館料

小・中学生 無料 / 高校・学生 150(100)円 / 一般 250(200)円 / 65歳以上 200円  
※周辺施設共通券提示の場合割引あり ※( )内20名以上の団体料金 ※常設展は別途入館料が必要です



# 花巻市博物館

〒025-0014 岩手県花巻市高松26地割8番地1 TEL0198-32-1030 FAX0198-32-1050  
<http://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/501/503/p005098.html>

特別展

# かん 観じる民藝展

## 柳宗悦に学んだ 尾久彰三コレクション

おぎゅうしんぞう



白磁灯台  
朝鮮王朝時代



木彫狛犬  
室町時代か



螺鈿藤文提手付銚子  
安土桃山時代

名もなき職人により生み出される工芸品の美。大正時代、その美しさに魅了された柳宗悦は、日常の人々の暮らしに深く関わる民衆的工芸―民藝―にこそ真の美があると気づきました。この発見は、人々の美意識に転換を求めたものでした。

本展では、柳宗悦が提唱した民藝運動の精神を受け継ぐ尾久彰三氏（元日本民藝館学芸部長）の蒐集したコレクションの中から、日本各地をはじめ、韓国等のアジア、ヨーロッパ、南米など、世界の民藝品約350点を展示・紹介いたします。コレクションの中から、開催地・花巻にゆかりのある民藝品も出展されます。

柳を敬愛する尾久氏の自由でユニークなコレクションには、人々の衣・食・住の営みのなかに存在する「美」があります。直観的にモノの中に美を見出すことを「観じる」と表現する尾久氏のコレクションを通して、「生活の中の美」に触れる時間をご堪能ください。



蓮池水禽図 室町時代



阿弥陀三尊来迎図 鎌倉時代

### 尾久彰三《おぎゅうしんぞう》

1947年、富山県に生れる。早稲田大学大学院文学研究科美術史学科修士課程を修了。1978年、日本民藝館（東京都目黒区駒場）に学芸員として勤務。2009年、日本民藝館を退職。多くのコレクション展を開催する傍ら、テレビ番組に出演。主な著書に、『民芸とMingei』『貧好きの骨董』『これは「骨董」ではない』『愉快な骨董』（全て晶文社）、『観じる民藝』（世界文化社）、『丸ごと韓国骨董ばなし』（バジリコ）がある。

### 交通案内



バス／新花巻駅→賢治記念館口  
岩手県交通 土沢線 イトーヨーカード行…約5分  
花巻駅→賢治記念館口  
岩手県交通 土沢線 土沢駅行…約20分  
車／花巻ICより…約20分 花巻空港ICより…約10分  
徒歩／新花巻駅より約25分

主催／花巻市、花巻市教育委員会  
監修／尾久彰三（元日本民藝館学芸部長）  
企画協力／有限会社イー・エム・アイ・ネットワーク  
後援／岩手日報社、岩手日日新聞社、胆江日日新聞、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、産経新聞盛岡支局、日本経済新聞社盛岡支局、河北新報社盛岡総局、サンデータイムス社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、花巻ケーブルテレビ、エフエム岩手、ラチオもりおか、えふえむ花巻、奥州エフエム

### 《ギャラリートーク》

講師／尾久彰三氏  
（元日本民藝館学芸部長）  
日時／2015年7月20日（月・祝）  
午前10:30～午後1:30～  
場所／花巻市博物館企画展示室  
定員／なし  
※申し込みは不要ですが、観覧料は必要です。

お問合せ



花巻市博物館

〒025-0014 岩手県花巻市高松26地割8番地1  
TEL 0198-32-1030 FAX 0198-32-1050